

子94キ級で金メダルが決
 にひざまずいた。「何が
 った大会。神に感謝した
 」、寝技や関節技に特化し
 世界選手権を開き、その
 母国では「伝説の柔術
 して絶大な人気を誇る。
 」という11歳の時に大会
 を変えた。国内外で優勝
 称号を得た。
 技・種目になった今大会
 勝ともに優勢勝ちと苦し
 「勝つためなら美しくな
 視線の先にあるのは、将
 だ。



級で金メダルを獲得
 サル・アフリケトビ

(梁田屋電太)

バスケットボール
 男子 5-8位決定戦

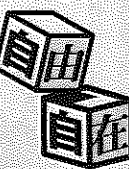
話したように、競り合いで
 歯が立たなかった。3点シ
 ュートを中村が4本、熊谷
 は3本決めるなど通用する
 部分もあった。中村は「練
 習の成果が出た」と明るい
 表情で、チームを引っ張る
 には「チャレンジはできて
 いる」と31日の最終戦へ前
 向きだった。(共同)

フィリピンに完敗

日本男子は、大会前に優
 勝候補の一角と目されてい
 たフィリピンに完敗した。
 熊谷が「リバウンドが取れ
 ずにセカンドチャンスを与
 えてしまった。これまでの

かつて日本の娯楽の花形といえ

ば、ボウリングだった。中山律子
 プロの活躍などで、最盛期の19
 70年代は全国の約3700カ所
 にボウリング場があった。だが、
 50年近くたった今は4分の1以下
 に。施設の老朽化や趣味の多様化
 が進む。そんな中、今回のアジア
 大会で、国際大会で初めて試行さ
 れた新たな得点計
 算システムは、裾
 野拡大の可能性を
 秘めている。



従来だと、スト

ライクの得点は次のフレームを投
 げないと分からなかった。だが新
 方式は自動的に30点を加算。さら
 に「スベアは、同じフレームの1
 投目に10点を加点」「最終第10フ
 レームでストライクやスベアを出
 しても、3投目はなし」という特
 徴もある。

最高得点は従来通り300点だ
 が、連続ストライクを出さなくて

ストライク 新方式で30点

も高得点を望める。「1試合の平
 均得点が20点ほど上がった」と日
 本代表の地下一秀監督。団体戦の
 上位選手で争うマスターズ戦女子
 で日本勢初の金メダルに輝いた石
 本美来(岡山商大)は「初心者で
 も計算が簡単。逆転など、ドラマ
 チックな展開になりやすい」と好
 印象だ。
 発案のきっかけは2015年。
 20年東京五輪の追加競技に手を挙
 げた時だ。五輪競技になるカギの
 一つが「テレビ受けするか」。ル
 ールを簡略化し、試合時間も短く
 かつスリリングにするというスポ
 ーツ界の流行を採り入れた。東京
 五輪追加競技の最終選考で落選し
 たが、今後の五輪競技入りを目指
 している。
 アジア大会では上々の評判だっ
 た新方式。五輪競技入りするため
 の手段にするだけではもったいな
 い。一般のボウリング場でも採り
 入れてはどうか。(前田大輔)

【混合】1600メートル決勝
 ①パトリック・3分11秒89⑥日本
 (木村、川田、宇都宮、山下潤)
 3分21秒90

飛び込み

【男子】シンクロ板飛び込み決
 勝 ①曹縁、謝恩揚(中) 47.9
 ・52点②寺内健、坂井丞(ミキハ
 ウス) 40.8・57
 【女子】シンクロ高飛び込み決
 勝 ①張家齊、掌敏潔(中) 3.6
 1・38点④板橋美波、荒井登里
 (JSS宝塚) 3.01・56

バスケットボール
 男子 5-8位決定予備戦

【男子】5-8位決定予備戦
 フィリピン 113-80 日
 (日本は7-8位決定戦へ)

自転車

【男子】4000メートル団体追い抜
 き1回戦 日本 完走、4分4秒
 2022 アラブ首長国連邦(日本
 は3位決定戦へ)▽同3位決定戦
 日本 追い抜き、カザフスタン
 △同決勝 中国 完走、4分3秒
 790 香港(韓国は予選で完走
 タイム3分56秒247の大会新を
 マーク)

馬術

▽障害飛越団体(減点法) ①サ
 ウジアラビア10・90点②日本(杉
 谷、御護守、柁井、福馬) 12・74

新体操

▽個人総合決勝 ①アリーナ・
 アデルハノワ(カザフスタン)
 66・800点⑥大岩千未来(イオ
 ン) 60・200⑦柴山瑠莉子(イ
 オン) 59・250

卓球

【男子】団体決勝 中国3-0
 韓国
 【女子】団体決勝 中国3-0
 北朝鮮

ソフトテニス

【男子】シングルス1次リーグ
 日組 長江光一(NTT西日本
 1勝) 4-0インタランシ(ラオ
 ス、1敗)、長江光一(NTT西
 日本、2勝) 4-0チエン(ベト
 ナム、2敗)、長江光一(NTT
 西日本、3勝) 4-3陳凱軒(台
 2勝1敗)▽同1次リーグC組
 船水颯人(早大、1勝) 4-0ヤ
 ハヤ(バキスタ、1敗)、金真
 雄(韓、2勝) 4-0船水颯人
 (早大、1勝1敗)

バレーボール

【男子】
 △進々決勝
 カタール 3-2 日
 (日本は5、6位決定戦へ)

ビーチバレー

【男子】決勝 シャンゴ、サム
 バ(カタール) 2-0ラチマワ
 ン、アシユフィヤ(インドネシア)

記録は共同